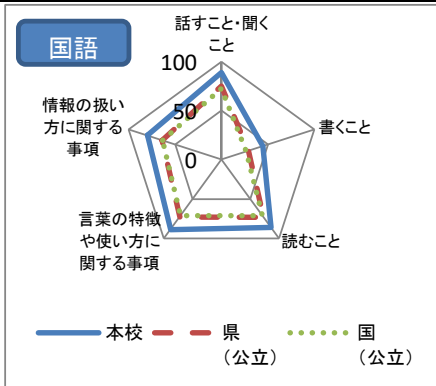


本年度正答率(本校84.0%, 県69.0%, 国67.2%)	本年度の結果について
---------------------------------	------------



**○全体的な傾向について**  
 国語科の全体正答率84%で、県平均を15ポイント上回った。また、どの領域においても県平均を上回っていた。記述式の問題においても、正答率が16.3ポイント上回っていた。

**○昨年度の課題への取組の成果**  
 国語科の書く活動において、文章を書いた後で指導に基づいた文章が書けているか推敲させた。お互いの文章で確認することを意識的に仕組み、表現のよさを友達の文章から見つける授業に取り組んだ。その結果、学校の米づくりの問題点と、問題に対し、通過率44.4%で県平均15.4ポイント上回ることができた。

重点課題
【課題1】1-2 全ての条件を満たしていない児童が55.6%, 正答率44.4%(県平均29.0%)
【課題2】2-3 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解することができていない児童が25.9%, 正答率74.1%(県平均62.9%)

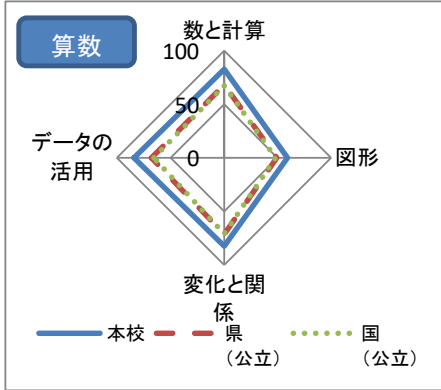


重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)	全校での目標(キャッチフレーズ)
国語科の書く学習において、問われていることを明確にする。文を書いた後で、条件に沿った文が書けているか、書いた分に線を引くなど印をつけながら推敲させる。	条件にあわせて書こう
書く活動において、集めた材料を分類したり、関係付けたりして、伝えたいことが明確に伝わるように表現させるために、資料と関連付ける書き方を指導する。	関係づけて整理しよう

令和5年度 全国学力・学習状況調査 数値目標
県平均+10ポイント

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法		全学年 書く単元		全学年 CRT標準学力調査 「書く」(作文)問題		全学年 書く単元	R5全国学力調査(書く問題) 5年
目標値				全国平均を3ポイント以上上回る。			全国平均+5ポイント
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法		全学年 説明文単元		全学年 CRT標準学力調査	全学年 説明文		R5全国学力調査(読むことの問題) 5年
目標値				全国平均を上回った 人数の割合70%			全国平均+5ポイント
実施後数値							

本年度正答率(本校77.1%, 県64.1%, 国62.5%) 本年度の結果について



○全体的な傾向について  
算数科の平均正答率は77%で、県平均を13%上回った。各領域別の平均正答率を見てみると、「数と計算」82.7% (県平均68.1%), 「図形」59.3% (県平均49.3%), 「変化と関係」82.4% (県平均71.4%), 「データの活用」84.0% (県平均67.7%) で、概ね定着が図られている。問題形式については、「選択式」、「短答式」、「記述式」ともに県平均を上回った。

○昨年度の課題への取組の成果  
昨年度、課題が見られた「変化と関係」の領域の指導については数直線や線分図に数や矢印、言葉等を書き込み、問題場面の把握を行ったり、図と式を関連付けながら説明したりする活動することを指導した。その結果、「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること」に

重点課題
【課題1】 テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書くこと。正答率25.9% (県平均20.5%)
【課題2】 66÷3の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の中の位に当たる式を選ぶこと。正答率55.6% (県平均48.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)	全校での目標(キャッチフレーズ)
低学年時では、具体物操作を用いて図形の性質を捉えさせる。中学年時から図形の仲間分けをする活動の際に図形の構成要素を表す算数用語を用いて説明する場面を設定する。	図形の構成要素を表す言葉を使って説明しよう!
低学年時では具体的操作の場面と式や筆算の表記を結び付けさせる。2学年時に筆算の仕方を言葉で説明することを授業やドリルタイムなどで取り組む。	数や式、操作、図を関連付けて説明しよう!

令和5年度 全国学力・学習状況調査 数値目標

「図形」領域の平均正答率を県平均+5%

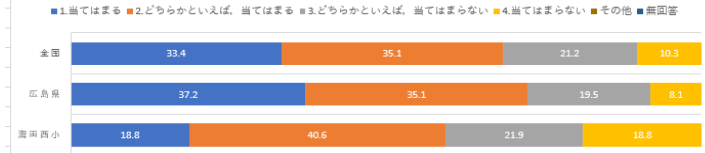
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	4年単元末テスト		4年・単元末テスト (四角形の持ちよう調べよう) 4年・算数のツボ 5年・単元末テスト (面積の求め方を考えよう) 5年・算数のツボ	全学年・CRT標準学力調査		4年・単元末テスト (箱の形の持ちよう調べよう) 5年・単元末テスト (多角形と円をくわしく調べよう) 5年・算数のツボ	R5全国学力調査 (「図形」領域) 5年
目標値	単元末テスト 正答率80%		単元末テスト: 正答率85% 算数のツボ: 正答率75%	全国平均を上回った人数 の割合70%		単元末テスト: 正答率85% 算数のツボ: 正答率75%	平均正答率 県平均+5ポイント
実施後数値							
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法				全学年・CRT標準学力調査			R5全国学力調査 (「数と計算」領域) 5年
目標値				全国平均を上回った人数 の割合70%			平均正答率 県平均+5ポイント
実施後数値							

# 令和5年度指導方法等の改善計画について【質問紙】

(全国学力・学習状況調査 質問紙)

## (1)生活・学習

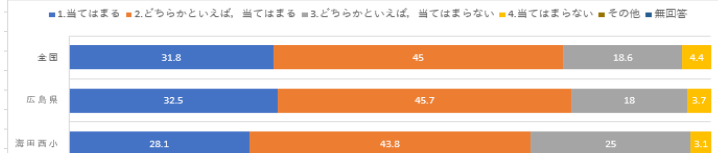
質問番号	質問事項										
	10 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
海田西小	18.8	40.6	21.9	18.8							
広島県	37.2	35.1	19.5	8.1							
全国	33.4	35.1	21.2	10.3							



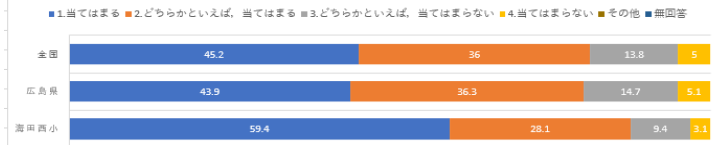
児童生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
質問(10)「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の肯定的評価が、59.4%で県平均より12.9ポイント低かった。	日頃から児童と関わる時間をもったり、児童の困り感に対して敏感になり、手立てを講じたりすることで、児童との信頼関係を構築する。	6	72.3%	児童アンケート	12月		

## (2)教科

質問番号	質問事項										
	48 国語科の授業で、立場や考えの違いを認識して話し合い、自分とは違う意見をきかして自分の考えをまとめていますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
海田西小	28.1	43.8	25	3.1							
広島県	32.5	45.7	18	3.7							
全国	31.8	45	18.6	4.4							



質問番号	質問事項										
	53 算数の授業の内容はよく分かりますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
海田西小	59.4	28.1	9.4	3.1							
広島県	43.9	36.3	14.7	5.1							
全国	45.2	36	13.8	5							



児童生徒の回答についての課題(現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状値からの伸び
質問(48)「国語科の授業で、立場や考えの違いを認識して話し合い、自分とは違う意見をきかして自分の考えをまとめていますか」の肯定的評価が、71.9%で県平均より6.3ポイント低かった。	友達や教師に対する信頼感・安心感が根本的な課題としてある。問題意識をもち、自分と異なる意見を肯定的に捉えながら話し合う活動の姿を全体共有し、国語科の授業はもちろん、全ての教科で実践を積み重ね経験させていく。	6	78.2%	児童アンケート	12月		
質問(53)「算数の授業の内容はよく分かりますか」の肯定的評価が、87.5%で12.5%が否定的評価であった。	・実生活と繋げた問題提示をすることで、自分事として課題を捉えられるようにする。 ・振り返りを大切にし、自分で何が分かり、何が分かりにくかったのか捉えさせる。 ・自主学習と対応させ、自己の課題に取り組ませる。	6	90%	児童アンケート	12月		